



4 月を振り返って

4 月新学期が始まり、皆さん新たな気持ちでスタートを切ったことと思います。おそらく選考を控えた 4 年生は今、一次選考（筆記試験）の準備と論文作成に集中していることと思います。すでにアナウンスしていますが、4 年生対象に教育実習向けの模擬授業演習を設定致しました。4 月は 15 日～24 日の設定でしたが、まだ実施単元が確定していない人も散見されました。5 月も引き続き模擬授業演習を設定しています。5 月 7 日～29 日の 3 限、4 限で設定していますので、メールに添付したエクセルシートを使って一人 2 回を目安に申し込んでください。先着順に日程を調整します。最新の情報はスプレッドシートにアップしておきますので、空いているコマを探して積極的に申請してください。また 3 年生に関しては、もうご存じだと思いますが、東京都・埼玉県・千葉県・相模原市では昨年度より教員採用選考の一次選考を 3 年生で受験できるようにルールを変更しました。そのためそれらの自治体での受験を考えている皆さんの中には「7 月に一次選考を受けてみたい！」と考えている人も多いと思います。教職課程センターには過去問も含め、様々な資料がありますので、受験を考えている 3 年生もぜひ早めに教職課程センターに登録して、センターを活用してください。登録用紙は、教職課程センターで配布します。また教職課程の授業でも配布されます。まずは一度教職課程センターに来てください。来年の受験に向けて個別に作戦を立てていきましょう。

5 月の予定

既に関東圏の自治体では、教員採用選考のエントリーが始まっています。4 年生及び一次選考受験を考えている 3 年生は、必ず各自治体のホームページを確認して、期日に遅れないようにエントリーしてください。関東圏の主な自治体の募集期日を以下に示します。

★東京都

令和 6 年 4 月 1 日(月曜日)午前 10 時～令和 6 年 5 月 8 日(水曜日)午後 6 時

登録 <https://www.kyoinsaiyopr.metro.tokyo.lg.jp/event/mypage.html>

申し込み https://mypage.3170.i-webs.jp/kyoiku_metro_tokyo07/

★神奈川県

受付期間 令和 6 年 4 月 17 日(水曜日) から令和 6 年 5 月 9 日(木曜日)

ただし、郵送申込期間は 4 月 17 日(水曜日) から 5 月 2 日(木曜日) (消印有効) です。

受付 原則インターネット申込みとなります (一部の特別選考を除く)

★埼玉県

出願期間 令和 6 年 4 月 3 日(水曜日) 10 時 00 分から令和 6 年 5 月 9 日(木曜日) 17 時 00 分まで

申し込み 電子申請サービスに登録

https://apply.e-tumo.jp/pref-saitama-u/offer/offerList_initDisplay

★千葉県

出願期間 受付期間 令和 6 年 4 月 1 日(月曜日) 9 時から 5 月 10 日(金曜日) 午後 5 時まで

登録 <https://apply.e-tumo.jp/pref-chiba-u/profile/inputUser>

★横浜市

出願期間 申込受付期間 4 月 10 日(水) ～ 5 月 13 日(月)

★川崎市

出願期間 令和 6(2024)年 4 月 5 日(金) ～ 5 月 16 日(木)




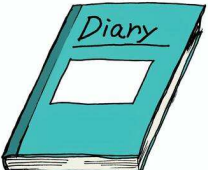



※郵送申込の締切は、5 月 9 日(木) 消印有効

※電子申請(インターネット申込)の締切は、5 月 16 日(木) 受信有効



2024年度 教職関係行事日程（抜粋）

※必ず「教職課程履修の手引き」で確認してください。

月	1年生	2年生	3年生	4年生
4月	教職ガイダンス 教職課程登録ガイダンス 教職課程登録届提出 履修カルテ受領	介護等体験事前指導	履修カルテ提出 教育実習志望者登録 (付属希望者)	教育実習特別講義 教育実習開始（～6月） 
5月		介護等体験開始		
6月		介護等体験後書類提出 	教育実習希望者登録 及び承認書提出 6/10～6/14	
7月			教員採用選考一次 (一部自治体)	教員免許状一括申請 手続き 教員採用選考（一次）
8月				教員採用選考（二次）
9月			履修カルテ提出 「教育実習事前指導授 業内」（～1月） 	教育実習日誌提出 (春学期実施者) (9月～1月) 教育実習事後指導 履修カルテ提出「教職実 践演習授業内」
10月				教育実習日誌提出 (秋学期実施者) 教員採用選考合格発表
11月	介護等体験ガイダンス・ 介護等体験登録・書類 提出 11/11～11/22			教員免許状一括申請・ 内容確認・署名捺印
12月	麻疹抗体検査			
1月	介護体験手続き書類配布・ 実習費納入・書類提出	教育実習ガイダンス 「教育実習の手引き」 配布 1/15・16		
2月				
3月			教育実習票提出 教育実習料納入 教育実習日誌配布 実習用定期券申し込み 東京都公立中学・高校 実習者のための個別ガイ ダンス（市ヶ谷）	教員免許状交付 介護体験証明書および 教育実習日誌の返却 

充実した教育実習のために

4年生は早ければ連休明けから教育実習が始まります。実習前の模擬授業演習についてはすでにアナウンスしていますので、予定が決まった段階で順次予約を入れてください。先着順で予定を組んでいきますので、早めの対応をお願いします。ここでは教育実習に臨む際の準備と心構えについてお伝えしていきます。



◇ 事前にできる準備

- ① 実習が始まる前に、指導教員としっかりコミュニケーションをとり、実習内容や指導単元、実習の目標（実習後になりたい自分の姿）を明確にしましょう。また、授業や指導の準備をしっかり行い、計画を立てておくことが大切です。実習が始まる前に、担当する授業内容（単元）や指導法について事前に十分な予習を行いましょう。わからないことは放置せず、必ず指導教員に質問してください。
- ② 教材や資料、教材の調達や作成を事前に行い、授業の展開に必要なものを準備しておきましょう。
- ③ 教育実習先での最初のあいさつや自己紹介はとても重要です。自己紹介や教員志望動機を事前に準備しておきましょう。あいさつは、職員に紹介されるとき、全校生徒に紹介されるとき、最初の授業で生徒に接するとき、の3通り用意しましょう。それぞれ短く、強いメッセージが出せればOKです。



◇ 実習中に心がけること

- ① 積極的な姿勢：積極的に授業や活動に参加し、自ら進んで学び取る姿勢が重要です。質問をしたり他の教員からのアドバイスを受け入れたりすることで自分の視野が広がります。もし実習後半に時間的な余裕があれば、他教科の先生方の授業も参観してみましょ。生徒の興味関心を引き出すテクニックや、生徒への言葉かけ、発問の工夫など、多くのことが学べるはずで。
- ② フィードバックと反省：実習が終わった後は、自分の行動や取り組みを客観的に振り返り、指導教員や先輩の教員からのフィードバックを受け入れましょ。そこで得られた改善点や強みを把握し、次回に生かすことを心掛けていましょ。
- ③ 協力とコミュニケーション：実習中は指導教員や学年の教員、生徒などとの協力とコミュニケーションが必要です。円滑な人間関係を築きながら、周囲と連携を図ることでより充実した実習ができます。特に大切なのは「あいさつ」です。朝職員室に入るときには大きな声で「おはようございます。今日も一日よろしくお祈いします」と元気にあいさつしてください。それだけであなたの印象は確実に上がります。
- ④ 時間管理：授業の計画や教材作成など、時間を有効に使うための時間管理が重要です。おおざっぱでかまわないので、午前、午後、放課後くらいに分けて、何に重点的に取り組むのか考えておましょ。勤務時間は8時15分から16時45分までの7時間45分ですが、朝は少し余裕をもって出勤ましょ。逆算すれば起床時刻もおのずから決まるはずで。放課後は可能であれば、部活動にも顔を出してみましょ。授業中とは一味違う生徒の姿を見ることが出来ます。生徒理解にもつながることでしょう。部活指導をしている多くの教員は指導後に翌日の授業の準備をするため、どうしても退勤時刻が遅くなります。仮に指導教員が遅くまで残っていたとしても無理して付き合う必要はありません。自分の授業の準備が終わった段階で「お疲れ様です、お先に失礼します」と一声かけてから退勤してください。もしそのことで「お前のほうが先に帰るのか」などと言われたらそれは明確に「ハラスメント」なので副校長や校長にそのことを伝え、管理職から指導してもらいましょ。
- ⑤ 体調管理：誰も生身の人間なので、好不調の波はあります。慣れない環境でストレスは多いのですが、肉体的・精神的に限界まで頑張ってはいけません。少し余裕が持てる範囲で取り組んでください。もし、発熱や感染症の疑いがあるときは無理に出勤してはいけません（周囲に拡散させる可能性がある）朝の段階で副校長に電話を入れてその指示に従ってください。



学習評価は、学校における教育活動に関し、生徒の学習状況を客観的に把握するために行います。授業は1時間の取り組みを通して「意図的に」学習者である生徒の変容を狙って取り組む活動なので、「指導＝教師の意図的な働きかけ」と「評価＝授業後の生徒の変容」とは表裏一体であり、指導案を作成する段階で必ず評価の観点や、評価の方法についてもあらかじめ考えておく必要があります。

評価の機能

- ◇ 生徒にどういった力が身に付いたか」という学習の成果を的確に捉える。
- ◇ 教師が指導の改善を図るための資料となる。
- ◇ 生徒自身が自らの学習を振り返り次の学習に向かうための資料となる。

評価の観点

- ① 知識・技能【学んだ知識・技能を他の学習や生活の場面でも活用できるか】
- ② 思考・判断・表現【課題を解決する等のために必要な力を身に付けているか】
- ③ 主体的に学習に取り組む態度【自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているか】

評価の目的

教師が自らの指導のねらいに応じて、授業での生徒の学びの広がりや深まりを把握し、学習や指導の改善に役立てる。



評価の方法

① 知識・技能 の評価方法

- ★ ペーパーテスト → 事実的な知識の習得、概念的な知識の理解
- ★ パフォーマンステスト → 実験・観察で必要なスキルを身に付けているか
- ★ 作文レポート → 習得した知識の概念を説明できているか
- ★ 式・グラフ・作図 → 習得した知識を的確に表現できているか

② 思考・判断・表現 の評価方法

- ★ ペーパーテスト → 事象について思考し、判断した理由や根拠を示せるか
- ★ 論述レポート → 思考の変化、判断材料、考察を記述できるか
- ★ プレゼンテーション → 自らの考えを的確にアウトプットできているか
- ★ 作品の制作 → オリジナルな表現ができているか

③ 主体的に学習に取り組む態度 の評価方法

- ★ ノート・レポート → 試行錯誤しながら学習を継続できたか
- ★ 授業中の発言 → 他の意見も取り入れつつ、学習を調整しようとしているか
- ★ 行動観察 → 粘り強く課題に取り組んでいるか
- ★ 生徒の自己評価 → 学習を振り返り、自らの変容を自覚できているか

そこで、一番評価が難しいとされているのが、③ 主体的に学習に取り組む態度 の評価です。「態度」の評価なので、他の2観点と違いペーパーテストでは評価できません。客観的に点数化することが困難な観点です。今学校現場ではこの「態度」の評価について様々な試行錯誤が行われているところです。評価のポイントは2つあり、「粘り強い取り組みを行おうとする」意欲の側面と、「自らの学習を振り返り、調整しようとする」メタ認知（※）の側面があります。特に「学びに向かう力、人間性等」のうち「感性や思いやり」など生徒一人一人のよい点や可能性、進歩の状況などを積極的に探して評価し、生徒に伝えることが重要です。生徒が次も頑張ろうという意欲に繋がります。

※メタ認知とは「自分が認知（考えている・感じている）していることを客観的に把握すること」です。つまり自分を見つめるもう一人の自分を意識することです。メタ認知能力が向上すれば、自分自身を客観的に見られるようになります。